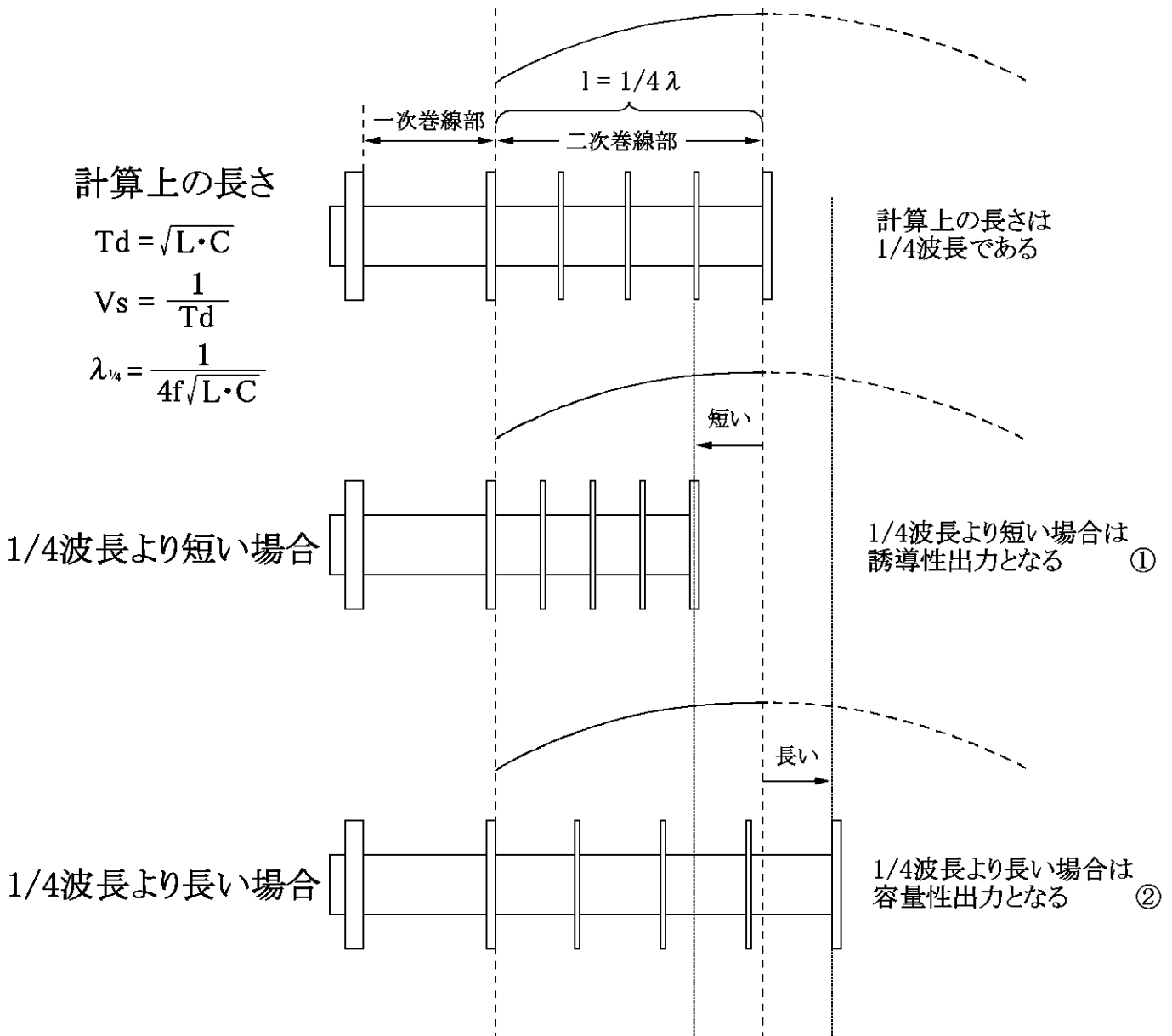


分布定数性調相結合型トランスの二次巻線部の長さとの関係



① 負荷が容量性、例えば、蛍光管周辺に発生する寄生容量が大きい場合、分布定数性の二次巻線部を $1/4 \lambda$ より少し短く設計し、誘導性出力とすることにより、容量性負荷とバランスさせてマッチングさせる。

② 誘導性負荷という例は少ないが、 $1/4 \lambda$ よりも長く設計してトランス出力を容量性とし、誘導性負荷とマッチングさせることもできる。